

それぞれのシステムを直接または間接的にリンクさせ総合力を高める

# ITAだからできる トータルホールセキュリティ



セキュリティカメラシステム / 監視カメラ統合管理システム / デジタルハイビジョン CCTV / ネットワークカメラシステム / デジタルレコーディングシステム / プロサウンドシステム / マルチビジュアルシステム / デジタルサイネージ / ワイヤレスインターカム / 車番認識システム / 顔認識システム / 顧客分析サービス / TV 会議システム / 他

■大阪本社 TEL.072-243-6666 ■東京支社 TEL.03-5800-0717 ■名古屋支店 TEL.052-777-0030 ■福岡支店 TEL.092-432-3130 ■札幌営業所 TEL.011-231-3600  
■仙台営業所 TEL.022-246-9110 ■金沢営業所 TEL.076-292-2250 ■広島営業所 TEL.082-264-2424 ■四国営業所 TEL.0877-98-4912 ■熊本 S.S. TEL.092-432-3130



# アイ・ティ・エイ・ヴィデオ・サービス

監視カメラ統合管理システム『MPC・Gプラス』

『自動追尾』『個別監視』『統合管理』

ホール監視の歴史と核心はITVAにあり

ホールセキュリティの先駆企業であるアイ・ティ・エイ・ヴィデオ・サービス。エンドレスドームカメラや遊技機単位の個別監視など、世界初、業界初の製品、監視メソッドで、業界のセキュリティを牽引してきた。そんな同社が次代に放つ監視カメラ統合管理システムが『MPC・Gプラス』だ。

**今**

ではどのカメラ機器メーカーでも取扱っている縦・横旋回ズーム機能搭載のドーム型追尾カメラ。しかしこれの製品化に世界で初めて成功

したメーカーが、アイ・ティ・エイ・ヴィデオ・サービス(以下「ITVA」)であることは、あまり知られていない。

各台、台毎計数機の普及で注目度を

あげている遊技台の個別監視も、ITVAでは台間カメラとして15年前からインナツプしてきた。

さらに監視カメラのハイビジョン化にも早くから取り組んでおり、2005年には通常のカメラ映像をリアルハイビジョンで表示する映像分割器をリリース、ヒット製品となった。

ITVAの創業は1970年。当時のカメラ設置と言えば、工場の製造ラインや原発、ダムなど人の進入が困難なエリアの監視用

途が主流。防犯目的でカメラを設置するという発想が皆無であったなか、リスクマネジメントを説きながらの提案だったという。以来「集中管理」「自動追尾」「全台録画」など、時代と顧客ニーズと革新性の絶妙なバランスを突いたシステム提案で、業界を牽引してきたリーディングカンパニーだ。カメラで培った緻密なシステム構築力が支持され、今では音響・映像などの店舗演出にかかわるシステムまで手掛ける。地域一番店をプロデュースすることも少なくないという。

営業部には多数の防犯設備士が在籍し、ホール業界のトレンドとセキュリティの両視点に立ったブランディングを提示。「顧客の声」を重んじ、他社が二の足を踏むような細かな要望、特殊なケースにも積極的に取り組む。既製品や従来仕様ではカバーできない案件も多く、それらは開発部に持ち込まれ、仕様の見直し、プログラムの更改が加えられる。市場に存在しないものであれば、新たに作り出す。世界初、業界初といった製品は、このスタンスによつて生み出されるわけだ。

全国10拠点すべてに自社人材の施工技術者・メンテナンススタッフを擁し、システムの安定稼働、運用効果の維持向上を支える。各セクションが緊密に連携し、三位一体となって顧客満足を追及する体制は、その理念を凶案化し

た同社の社章にも見ることができ

そんなITVAが現在フラグシップシステムと位置づける製品が、監視カメラ統合管理システムと呼ばれる『MPC・Gプラス』だ。ハイビジョン／従来NTSCカメラの両方に対応し、ホールコンやPOSシステムともリンクする。ホールセキュリティを丸ごとパッケージしたような仕様でありながら、使い手にそれを意識させないシンプルな操作性が秀逸だ。

実機を使った出張デモも展開中とのこと。新店、改装、設備更新の予定を控えているなら、是非ともチェックしておきたいシステムだ。



A/ドーム型以前の旋回ズームカメラ B/世界初の旋回ズーム一体型ドームカメラ。ドーム型は今や監視カメラの代名詞的形狀とえる C/遊技者の容姿・手もとをしっかりと捉える個別監視台間カメラの実際映像(映像内の人物はITVA社のスタッフ) D/台間カメラ設置例



「パチンコイノベーションフォーラム2013」にも出品され、話題となった監視カメラ統合管理システム「MPC-Gプラス」